平成26年4月21日

各　位

会 社 名　　三 井 造 船 株 式 会 社
代表者名　　代表取締役社長 田中 孝雄
（コード：7003、東証第一部）
問合せ先　　財務経理部長　 塩見 裕一
（TEL 03-3544-3225）

特別利益の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり平成26年３月期において特別利益を計上する見通しとなり、平成26年２月４日に公表した通期連結業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。
また、期末配当予想につきましても併せてお知らせいたします。

記

１．特別利益の計上

当社は、平成26年３月18日付で公表しました「昭和飛行機工業株式会社普通株式(証券コード7404)に対する公開買付けの結果及び子会社の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、当社の持分法適用関連会社であった昭和飛行機工業株式会社の株式を公開買付けにより取得し、同社は平成26年３月24日付で当社の連結子会社となりました。
これに伴い、平成26年３月期において、段階取得に係る差益として約57億円ならびに負ののれん発生益として約297億円を特別利益に計上する予定です。

２．平成26年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	680,000	16,000	17,000	7,000	8.46
今回修正予想（B）	670,000	20,000	26,000	42,000	50.77
増　減　額（B－A）	△10,000	4,000	9,000	35,000	－
増　減　率（%）	△1.5	25.0	52.9	500.0	－
（ご参考）前期連結実績（平成25年３月期）	577,093	24,001	26,162	△8,207	△9.91

修正の理由

売上高は受注遅れの影響などにより前回発表予想を下回りますが、営業利益は、為替水準が想定よりも円安で推移したことから受注工事の損失見込み額が減少し、前回予想を上回る見通しです。経常利益は、営業利益の増加に加えて、為替差益や持分法投資利益の増加により増加する見込みです。当期純利益は、減損損失や貸倒引当金の計上などによる特別損失の増加要因はあるものの、特別利益として段階取得に係る差益ならびに負ののれん発生益を計上することから、前回予想を上回る見通しです。

３．期末配当予想

連結当期純利益は前回予想を大幅に上回る見込みですが、当該特別利益はキャッシュ・フロー及び個別財務諸表の当期純利益には影響いたしません。また、営業利益や経常利益の増加要因は、期末日の為替レートによる評価替えの影響が大きく、実態としては概ね前回予想どおりに推移したことから、平成26年３月期の期末配当につきましては、平成25年４月26日に公表したとおり１株当たり２円とさせていただく予定です。

（注）上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により上記数値と異なる可能性があります。

以上